



## 花まつり

本園では、毎年、お釈迦様の誕生を祝う「灌仏会（花まつり）」を旧暦での4月8日として、5月に開催しております。（今年は、旧暦4月8日は新暦では5月15日になります。）

すずか幼稚園では5月8日（水）に、第2すずかきしおか幼稚園では5月9日（木）に開催し、両園とも午前中に「花御堂（はなみどう）」に据えられた「誕生仏（たんじょうぶつ）」に「甘茶（あまちゃ）」をかけ、自分たちの健やかな成長をお願いしました。子どもたちは、甘茶をかけた後、誕生仏に手を合わせ「大きくなれますように」「元気でいられますように」などとお祈りしていました。

午後は、年長組による「白象のパレード」を行いました。すずか幼稚園では園庭を、第2すずかきしおか幼稚園では駐車場を、花御堂を乗せた白象をロープで引っ張りパレードしました。年中組と年少組の子どもたちは、年長児によるパレードを「がんばれー」と声をかけながら見学しました。

今年の花まつりは両日とも気持ちのいい五月晴れでしたので、子どもたちの心に残る行事になったことと思います。

花まつりに際しまして、ご家庭から園に花をお寄せいただきましたことを感謝申し上げます。



## 親子遠足

本年度の「親子遠足」は、5月17日（金）に実施し、年年少組と年少組は「鈴鹿サーキット」、年中組は「鳥羽水族館」、年長組は「名古屋市東山動物園」にて楽しい一日を過ごすことができました。

当日は晴天に恵まれ、「親子遠足日和」でしたが、気温も高く屋外での行動にはかなりきつい状況となりました。特に年長組の東山動物園では、高温との戦いだったのではないのでしょうか。

年年少組と年少組の鈴鹿サーキットは、メインゲート前に集合した後に入場して集合写真を撮り、それぞれのご家族でアトラクションを楽しませてみえました。お昼ごはんでは、他のご家族さまと合同で食べられるなど、交流されているように感じました。

年中組は近鉄伊勢若松駅から専用列車で鳥羽駅まで行き、鳥羽水族館まで徒歩での移動でした。専用列車は各クラスに分かれていたものの、往路の車両内では子どもたちが友だちと話をしたりおやつを食べたりと、これから行く水族館への期待に胸を膨らませている様子を感じられました。往路に反して帰路は、水族館から鳥羽駅までの道のりは疲れから遠く感じられ、中にはご家族さまに抱っこされているお子さまも見受けられました。帰路の電車の中では、まだまだ元気に過ごしている子もいれば、完全に熟睡している子もいました。

年長組は近鉄伊勢若松駅から団体専用列車「あおぞら号」で近鉄八田駅まで乗車し、地下鉄八田駅へ移動して乗り換えました。同じ八田駅でも近鉄線から地下鉄線までは若干距離もあり、地下鉄は専用列車ではないため乗り換えには神経を使いますが、皆さまのご協力によりスムーズな乗り換えができたと思います。

動物園では、さすがに年長組さんだけあって元気よく園内を歩き回り、動物を見ている姿が見られました。動物園はほとんどが屋外ですので、何をしても日当たり良好で、暑さで疲れが倍増されたのではないのでしょうか。

今回の親子遠足では、どの学年も大きなケガや事故がなかったことは、参加いただいたご家族様方のご協力の賜物と考えております。また、それぞれの学年で目的地は違ったものの楽しく過ごすことができ、コミュニケーションも深めていただくことができたのではないかと思います。



## ラッコはなぜ、ウニ、アワビ、カニなどの高級食材ばかり食べるか？

ラッコを飼っている水族館では、ウニ、アワビ、カニなどの餌代が1日1頭1万円以上かかるという。こんな高級食材を好むのは、生息域である北の海の海水温が低いにもかかわらず皮下脂肪が極端に少ないからだ。高カロリー食でなければ生きていけない。『シートン動物記』によると、ラッコはもともと陸上動物だったが、毛皮を狙う人間に追われ海中に追いやられた。だから、毛は密集しているものの、皮下脂肪は少ないのである。

（子どもにウケるたのしい雑学②より）

